

7月8日を「岩滝地区防災の日」に



7月6日撮影



昨年

昨年の災害から1年経った岩滝公民館横の谷の上部復旧工事の現場です。

左には土砂崩れを引き起こす白土（しらつち）の厚い層。手前は雨水から崩落を防ぐブルーシートをかぶせた所。

針金の枠の中に石を詰めた防護壁の設置工事が進んでいます。この下に、まだいくつかの谷止め工事が行われていくことになります。

今回の広報では、昨年の豪雨で被害のあった場所の1年後の状況を写真で紹介します。

広報いわたき

●発行者●

岩滝まちづくり協議会

TEL 77-9877

FAX 77-9409

メール

iwataki@hidatayaama.ne.jp

第1回防災会議を行いました

6月25日
滝町公民館にて

<中家小兵衛会長より>

- ・7月8日を「岩滝地区防災の日」としたい。家族・地域で思い起こしながら、訓練・研修・会議などを実施したい。
- ・人と人とのつながり・助け合いを大切に防災組織・防災態勢をつくっていききたい。

<講師 高山消防署 成原卓氏より>

- ・自分で自分の命を守る「自助」の勉強会・備え・家族内の話し合いをしてほしい。
- ・まず町内で互いの協力・助け合い・約束など「共助」について話し合い、非常時に一人一人がどう動けばいいかを決め、準備をしてほしい。
- ・死ぬときは、だれもが「まさか自分が」と思って死んでいく。岩滝では「誰も死なん。」といえるほど災害に備えてほしい。

<講師 高山市危機管理課 平岡誠氏より>

- ・災害時に備え「災害避難カード」を各家庭で作って、町内会やまち協でまとめておき、安否確認を確実にしてほしい。
- ・会議を進め「岩滝地区防災計画」を住民皆で作ってほしい。避難先・役割分担・動きなどその中に盛り込んで。

<防災会議メンバー20名>

- ・岩滝まち協役員 10名
- ・町内会長・副会長 6名
- ・岩滝小学校長 1名
- ・消防団班長 1名
- ・防災士 2名

講師の方々からたくさんのお話を教えて頂きました。

皆さんが「こういうときはどうするの?」という疑問を感じてみえると思います。

それを出し合って、「こういうときはこうする!」という約束をはっきり決めることが大事だと思いました。

・第2回防災会議は7月21日に行います。

被災地の今

令和2年7月豪雨で岩滝は土砂崩れなど大きな被害を受けました。とくに7月8日は岩滝公民館横の谷が抜けて大災害となりました。それから1年経った今、現場の様子を写真にして比較してみました。

被災場所96か所について市へ復旧の要望書を提出したうち、76か所について、勝手な見方かもしれませんが右のような記号で復旧の様子を整理してみました。

- ◎ = 復旧工事完了
- = だいぶん工事が進んでいる
- △ = 少し工事がされている
- × = 全く手が付けられていない

左 R2年7月（1年前 被災時）

右 R3年7月（現在）

1
河川の土手崩落
×



2
河川の土手崩落
×



3
護岸の破損
×



4
護岸の破損
×



5
河川の土手崩落
△



6
河川の土
手崩落

×



7
河川の土
手崩落

◎



8
河川の土
手崩落

×



9
土砂崩
れ

○



10
護岸の破
損

×



11
土砂崩
れ

△



12
河川の土
手破損

×



13
土砂崩れ

×



14
土砂崩れ

×



15
土砂崩れ

◎



16
河川の土
手崩落

×



17
土砂崩れ

◎



18

河川の護岸の破損

×



19

用水取り入れ口の破損

○



20

滝川上流いたるところで崩落

×



21

河川の土手崩落

○



22

土砂崩れ

×



23

土砂崩れ

×



24
土砂崩れ
△



25
土砂崩れ
△



26
土砂崩れ
×



27
土砂崩れ
×



28
谷からの土砂崩れ
◎



29
排水できるような側溝を設置
×



30
土砂崩れ
○



31
牧野道路
の路肩崩落
×



32
土砂崩れ
△



33
土砂崩れ
×

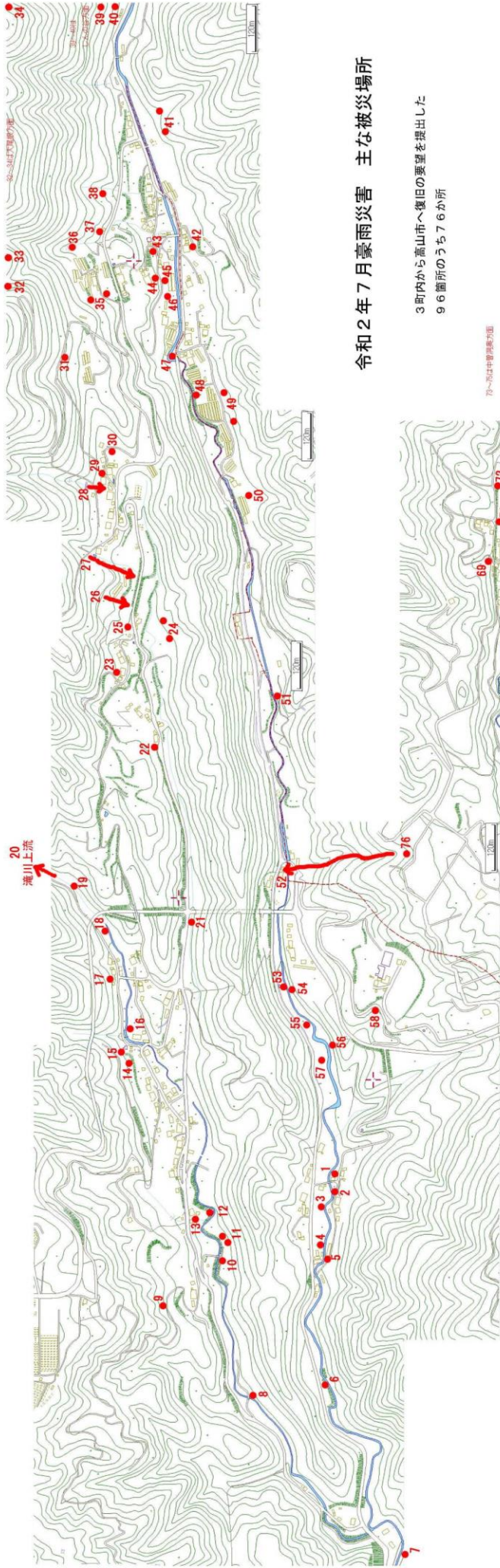


34
路肩崩落
×



35
土砂崩れ・路肩崩落
○

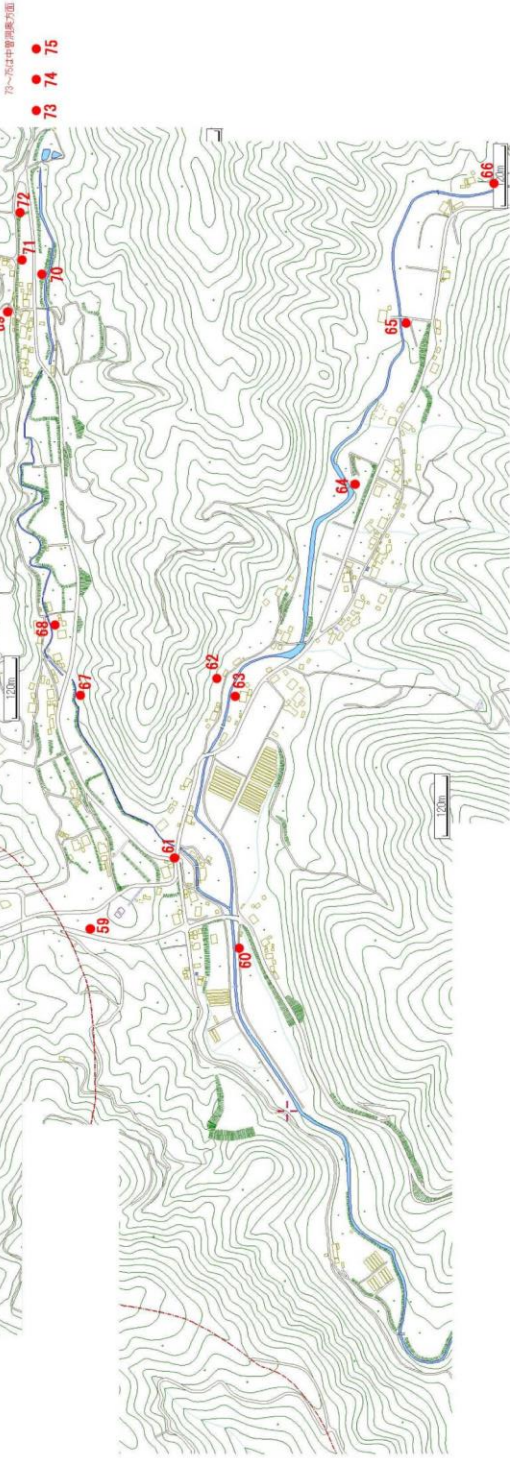




令和2年7月豪雨災害 主な被災場所

3 町内から高山市へ復旧の要望を提出した
9 6箇所のうち7か所

1～76の番号は、被災箇所の写真と一致しています。
滝町は1～25
生井町は26～57
岩井町は58～76がおよその範囲です。



災害は土砂崩れ、河川の土手の崩落がほとんどでした。土砂崩れは、白土のところほとんどで、上の地図の上半分にあたる滝・生井方面に多く分布しています。地図の下半分の岩井方面は、どちらかという赤土とガラガラした石が多いように思えます。

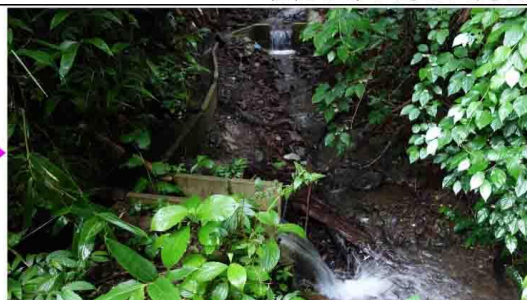
ハザードマップがご家庭に届いているかと思いますが、自宅の位置が「土砂災害特別警戒区域」に入っているかどうかよくご確認ください。後から気づいたことですが、岩滝公民館の横の谷は、「土砂災害警戒区域(土石流)」と、「土砂災害特別警戒区域(土石流)」に入っていました。

被災害に指定されて工事が行われていますが、私有地に関してはその予算で全て行われるわけではないので、個人の負担分も必要になります。私有地からの土砂が市道にかぶさったというような場合は、市道にかぶさった土砂の撤去については市がやってくれます。

国の激甚災害の指定
「令和二年五月十五日から七月三十一日までの間の豪雨による災害についての激甚災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」について
＜主な適用措置＞
① 公共土木施設災害復旧事業等に関する特別の財政援助（法第3条及び第4条）
② 農地等の災害復旧事業等に係る補助の特別措置（法第5条）
③ 農林水産業共同利用施設災害復旧事業費の補助の特例（法第6条）
などが定められ、国の補助率も引き上げられます。

36
用水取り
入れ口の
破損

○



37
土砂崩れ

×



38
土砂崩れ

△



39
谷からの
土砂流出

○



40
谷の土砂
流出・路
肩崩落

○



41
土砂崩れ

○



42
土砂崩れ
×



43
土砂崩れ
△



44
土砂崩れ
×



45
土砂崩れ
△



46
土砂崩れ
×



47
護岸の破損・土砂堆積・氾濫
◎



48
護岸の破損
×



49
土砂崩れ
○



50
土砂崩れ
×



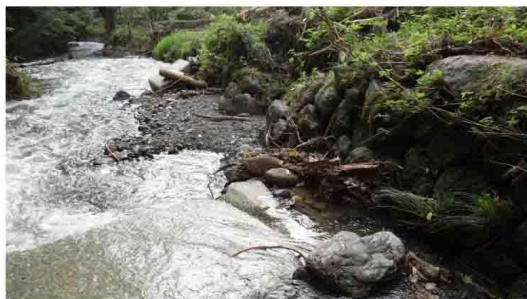
51
河川の土手崩落
×



52
谷からの土石流
○



53
用水取り入れ口の破損
△



54
土砂崩れ
・ 氾濫

×



55
川の氾濫

○



56
土砂崩れ

△



57
川の氾濫

○



58
路肩崩落

◎



59
土砂崩れ

◎



60
護岸の破損
◎



61
側溝からあふれる水
×



62
土砂崩れ
△



63
河川の土手崩落
△



64
護岸の破損
×



65
護岸の破損
○



66
路肩崩落
×



67
土砂崩れ
・護岸の
破損
×



68
護岸の破
損
×



69
土砂崩れ
△



70
河川の土
手崩落
×



71
路肩崩落
◎



72
路肩崩落
◎



73
土砂崩れ
◎



74
土砂崩れ
△



75
路肩崩落
△



76
土砂崩れ
△



昨年の被害現場をまわって写真を撮りました。被害規模が大きいため、復旧完了まではまだまだかかるという感じです。草が茂ってよく見えないところもあり、そのうち忘れられて放置されてしまうことにならないか心配になりました。岩滝地内を見て回ると、きっと昔ここで土砂崩れがあったのだらうと思える場所がたくさんあります。復旧の要望を忘れないように。継続していくことが大切だと思いました。

この広報を書いている今、TVからは熱海の土石流災害、島根や山口県の線状降水帯による豪雨災害のニュースが流れ、岐阜県は9日にかけて大雨と土砂災害に注意という予報です。



土石流危険渓流の多い岩滝です。手をこまねいているうちに被災ということにならぬよう町内会・まち協が協力して早急に準備していきましょう。